

<h1 style="margin: 0;">一般会計</h1>	<h2 style="margin: 0;">歳入総額 115億2,484万円</h2> <h2 style="margin: 0;">歳出総額 107億2,429万円</h2>
----------------------------------	---

どこからお金が入ったの？

皆さまから納めていただく町民税、固定資産税、軽自動車税など
63億 1,677万円 [自主財源]

国や県から割り当てられる補助金や交付金
52億 807万円 [依存財源]

歳入歳出差引残高 8億55万円
 繰越明許費 △3,512万円
 実質収支額 7億6,543万円

繰越明許費とは・・・年度内に終わることのできない支出を、次年度に繰り越す経費

町税や使用料などの収納状況

項目	収入額	収納率
町民税	20億 441万円	99.16%
固定資産税	15億8,498万円	99.03%
軽自動車税	5,183万円	98.97%
たばこ税	1億7,396万円	—
住宅使用料	997万円	97.64%
国民健康保険税	8億 134万円	98.88%
小計	46億2,649万円	

財政健全化判断比率

平成23年度	
実質赤字比率	—
連結実質赤字比率	—
実質公債費比率	15.7
将来負担比率	113.8

【用語解説】
 ◇実質赤字比率・・・一般会計の赤字の割合(14%以下)
 ◇連結実質赤字比率・・・全ての会計の実質赤字の割合(19%以下)
 ◇実質公債費比率・・・借金返済額の割合(25%以下)
 ◇将来負担比率・・・将来負担すべき実質的な負債の割合(350%以下)
 ※ ()内の基準を超えると財政上の制限が掛かる。

賛成討論

歳入面では、旧清掃センター用地の売却に関する会計処理も、税収の収納率上昇も効果をあげており、歳出面では、事務経費の徹底削減など最大級の努力をしていることを認める。

反対討論

予算審査時に指摘した問題点が16項目未解決だ。ゴミ袋は引き続き有料で地方自治法に抵触している。頻繁な人事異動で職員のモチベーションに影響がある。税滞納者への対応は容赦仮借のないもので、訪問面談して事情を把握することを怠っている。今回16万円の給与のうち10万円を差し押さえた事案が発覚した。これでは人にやさしい広陵町とは言えない。

各特別会計の決算状況

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	30億4,191万円	32億8,407万円
後期高齢者医療	2億3,164万円	2億3,090万円
介護保険(保険事業)	17億3,590万円	17億3,026万円
(介護サービス事業勘定)	871万円	839万円
下水道事業	10億9,232万円	10億9,232万円
墓地事業	1,535万円	1,410万円
学校給食	1億7,348万円	1億7,348万円
用地取得事業	939万円	939万円

採決結果 賛成多数で可決
 【賛成者 堀川、谷、吉村、坂野、山村、竹村、奥本、吉田、坂口、笹井、八代】

会計名	歳入	歳出
水道事業(収益的収支)	8億 144万円	7億5,500万円